

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもスポーツ園SCF		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 12日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名 (41名で兄弟姉妹4組)	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 12月 12日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域では数少ない集団での運動・スポーツを媒体とした療育を実施している施設として、保護者からの興味や期待が大きい。また同一グループ内のネットワークによって、運動指導専門のインストラクターの確保ができる。	運動指導は専門インストラクターにある程度依存していたが、研修を取り入れることで、徐々に指導員が担当できるように取り組み中である。	集団での活動のみでなく、個別プログラムの提供開始を検討する。
2	室内ではあるが、10人程度であれば、スポーツでしっかり体を動かすことができるスペースを確保している。	レイアウトを変更したり、時間帯によっては球技を禁止するなど、学習環境にも配慮した運営を進めている。	プログラム時間以外にも個別で運動スキルの練習ができるスペースを検討する。
3	送迎用車両を4台確保していることで、利用児童全員を対象に送迎が可能である。	運転業務担当と引率業務担当の2名体制とし安全面も強化している。	各曜日の利用児童はほぼ確定しているため、毎回同じ時間にご家庭にお送りできるよう工夫を進める。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ICTおよびSNSの有効活用が進んでいない。	グループとしてはパソコンの設置やデータ管理の一元化は進んでいる中で、職員が使いこなせていない部分が多い。個人の経過記録は専用アプリの活用を始めた。SNSについてはドキュメントとして残すうえでも、活用を進めている。	経過記録などのデータは、必要な際には、保護者が閲覧できるよう集約してデータサーバーに保管し整理する。
2	個々の児童が来所してから運動プログラムに参加するまでの時間について、施設での過ごし方やタイムスケジュールが体系化されていない。	これまでは、児童に対し個別課題は提供していなかったが、今後はその必要性がより高まっている。	宿題のみでなく読書や絵画、製作など多様なプログラムに対応できるよう準備を進める。
3	運動スペースの広さは十分であるが、天井が低いため、高学年が球技や器械体操を行う際に、難しい場合がある。	施設の移転は現状困難なため、運動種目や内容などを工夫する対応が必要。	プログラムによっては、近隣の運動施設（フットサル用コート）を使用するなど検討。